



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 来夏までに小中学校全ての普通教室にエアコンを設置します

今年の夏は、灼熱地獄のような暑さでしたね。

全国で 35℃ 以上の猛暑日が続き、埼玉県熊谷市では国内観測史上最高となる 41.1℃ を観測し、気象庁は「命に危険を及ぼすレベルで、災害と認識している」とコメントし注意を促しました。

市内でも、夏休み前の期間に全小中学校で一日の最高気温を測定したところ、最も気温の高かった教室では 38℃ を観測。7 月中に熱中症などの症状を訴え、保健室で処置を受けた児童・生徒数は 842 人、早退した児童・生徒数は 292 人に上ったと報告を受けています。

このような状況を踏まえ、児童・生徒が安全で健康的な学校生活を過ごすためには、その大部分を過ごす「普通教室」へのエアコン設置は、財政事情の厳しい状況下であっても「待ったなし」の最優先課題であると判断しました。



この 9 月議会の補正予算には、来年の夏前までに全小中学校の普通教室(285 室)に空調施設を整備するため、総額約 9 億円の債務負担行為を設定することとしました。

設置手法は、全額市の単独財源で賄う「リース方式」を予定しています。これにより、通常の整備手法に比べ、設置までの契約手続きや施工の期間などを極めて短期間で完了できるとともに、初期投資の抑制や全教室への一斉

導入が可能となり、学校間の公平性の確保と維持管理を含めた効率的な運営によるコスト削減が図れることになります。

国もこの猛暑に対応するため、^{すがよしひで}菅義偉官房長官が「クーラーが設置できていないところは早急に(設置)しなければならない」と述べ、全国の小中学校へのエアコン設置のために支援する考えを示しました。しかしながら、エアコン整備に係る国の財政措置は、平成 30 年度補正予算および平成 31 年度当初予算編成などにおいて、9 月以降に議論が行われるとのこと。これでは、来夏までの小中学校へのエアコン整備は極めて難しいと判断し、市単独財源でのリース方式を選択しました。また、9 月議会にエアコン導入のための事前調査費を計上する市町が多いようですが、当市はすでに、その調査は済んでいることも併せてご報告いたします。



残るエアコン未設置の特別教室などについては、国の補助(3分の1補助)を活用し、各教室などの使用状況等に応じて、2～3 年程度の計画で整備していく予定であります。

ここ数年続く猛暑は、もはや異常気象という言葉だけでは済まされません。児童・生徒の安全と健康を守るため、来年の夏には快適な環境で授業を受けられるように準備してまいります。

「広報ひみ」から

姉妹都市である富山県氷見市から寄せられたイベント情報などをご紹介します。

氷見市ふれあいスポーツセンター横大芝生広場(氷見市鞍川 43-1)をスタート・ゴールに「第 15 回氷見キトキトウオーキング」を開催します。

コース/▷ 10 月 20 日(土) ①世界で最も美しい湾と万葉の故地めぐり(30 km) ②史跡と白砂青松の海岸めぐり(12 km) ③川沿い巡ってまんがロード(6 km) ▷ 10 月 21 日(日) ④ひみ「絶景」ぶどう畑と森林浴コース(22 km) ⑤氷見海岸とまんがロード(10 km) ⑥ふれあいの森とまんがロード(6 km)

⑦ゆったりファミリーコース(2.5 km)
参加費/1,000 円(高校生以下 500 円、3 歳未満無料)

※⑦は、1 家族 500 円。

申込期限/10 月 1 日(月)

※詳細はお問い合わせください。

㊟氷見キトキトウオーキング実行委

員会(氷見市スポーツ振興課内) ☎ 0766-74-8446

